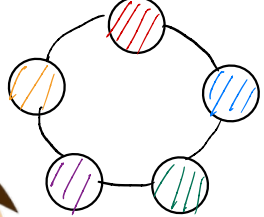


④ (1) 12通り (2) 504通り

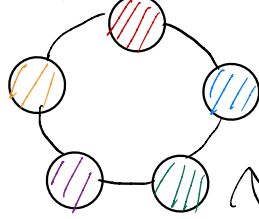
(1) 腕輪は数珠(じゆず)順列
数珠順列とは円順列において裏返して
同じになるものを区別しないこと。

例えば...

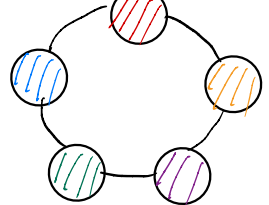
腕輪



男性視点



女性視点



同じ腕輪でも表と裏で
2通りの見え方がある!

数珠順列ではその2通りを同じものとする。

どの宝石の並び方に対してもそれぞれ
2通りの見え方があるから、この場合、
求める場合の数は円順列の場合の数を
2で割り、たものである。

よって計算式は $\frac{(5-1)!}{2} = 12$ 12種類

(2) 7人から5人の選び方で $7C_5$ 通り、
5人の円順列で $(5-1)! = 4!$ 通り

よって求める場合の数は $7C_5 \times 4! = 504$
504通り